

# 堺が誇る伝統産業に触れてみよう！

## シマノ自転車博物館&鉄砲鍛冶屋敷

担当 5 班

堺といえば、仁徳天皇陵古墳などの百舌鳥古墳群、千利休ゆかりの茶の湯文化、与謝野晶子、そして堺打刃物や自転車などの伝統産業を思い浮かべる方が多いでしょう。

今回はそら組でまだ行っていないシマノ自転車博物館と鉄砲鍛冶屋敷、清学院を訪ねます。



実施日	2025年12月26日(金) 雨天中止
見学場所	シマノ自転車博物館 鉄砲鍛冶屋敷 清学院
集合場所	南海高野線堺東駅 <b>西改札口 10時</b>
コース	堺東駅 →シマノ自転車博物館（集合写真） →ザビエル公園 (昼食・班長会議) 12:20~13:00 →鉄砲鍛冶屋敷と清学院 → 南海本線七道駅 歩行距離 約2.5km
解散場所	南海本線七道駅 15時頃
参加費	シマノ自転車博物館：65歳以上無料。65歳以下個人負担200円（そら組からの補助200円）65歳以下の方は班長までお知らせください 鉄砲鍛冶屋敷と清学院：個人負担200円。（そら組からの補助240円）。但し、堺市民、障害者手帳を持っている方は無料、班長までお知らせください 各班で集め19日までに5班植月までお願いします
持ち物	弁当、敷物、飲み物、防寒着など
実施可否	前日の夕方の天気予報で降水確率が50%以上は中止とし、そら組全体メールでお知らせします。
参加者報告	12月12日（金）までに5班班長 野間までお願いします。（65歳以下の人数、堺市民、障害者手帳をお持ちの方の人数も合わせてお知らせください）

◆シマノ自転車博物館は、以前は大仙公園内にありましたが、2022年3月に堺東駅近くにリニューアルオープン。

世界最古の自転車から個性豊かなものまで多種多様な自転車が展示されています。ガイド無し

◆鉄砲鍛冶屋敷は日本で唯一残る江戸時代の鉄砲鍛冶の作業場兼住居で、2024年3月にオープン。鉄砲鍛冶・井上関右衛門家に伝わる資料の展示のほか、店の間や鉄砲鍛冶場の空間が再現されています。ガイド有り

◆清学院は河口慧海（えかい）が学んだ寺子屋で、慧海は仏教の原典を求めて日本人で鎖国下にあったチベットへの入国を果たしました。慧海関係の資料などを展示しています。



※鉄砲鍛冶屋敷は一度に全員が入れないので、隣接する堺市立町屋歴史館清学院に分かれて見学していただきます。 A グループ1、2班、 B グループ 3、4 班、 C グループ 5、6 班